

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 己に厳しくします。
- 2 時を守ります。
- 3 場を清めます。
- 4 礼を正します。
- 5 優しく厳しく接します。（子どもに）
- 6 真摯に学びます。（教職員相互に）
- 7 誠実に対応します。（保護者に・地域に）

不祥事根絶のための行動計画

- 【使命】私たちは、子どもを守り、育てます。 【遵法】私たちは、法令を遵守します。
 【公正】私たちは、不祥事を許しません。 【公開】私たちは、地域に開かれた学校にします。

東広島市立平岩小学校
校長 平林 明美

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○当事者意識・危機管理意識を高める研修が必要である。 ○個人情報取扱者であることを常に自覚する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修の方法や内容等を見直し、身近な事例や体験的な研修を通して、当事者意識の持てる研修を実施する。 ○整理整頓を心がけ、ルールに基づく適正な管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修年間計画において、全教職員にテーマを割り振り、演習等を取り入れた研修内容を計画させる。 ○毎週金曜日を「整理整頓の日」と定め、教室や職員室の整理整頓について点検する。 ○情報管理におけるルールを厳守させる。（持出・返却状況・個人情報の保管場所等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回、振り返りシートに記述させ、指導・助言を行う。 ○金曜日の退校時、整理整頓の状況を管理職が点検し、状況に応じて個別に指導する。 ○毎日、持出許可簿への記入・返却状況の確認を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○互いにコミュニケーションを図ることができる風土を醸成する必要がある。 ○職員間の「報告・連絡・相談・確認」を一層徹底する必要がある。 ○業務改善を推進する必要がある。（働き方改革） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「行動基準自己チェック」により、自分の行動を振り返り、危機管理意識を高める。 ○「報告・連絡・相談・確認マニュアル」に沿って迅速に情報を共有する。 ○職務の効率や質を高めるため、組織・個人としての業務改善を考え実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業績評価の面談時に「行動基準自己チェック」を行い、自己の課題を明確にする。 ○不祥事防止委員会（月1回）において、小さな気付きを早めに情報共有する。 ○水曜日の暮会時を情報共有の場とし、意思疎通・共通理解を図る。 ○一人一人が具体的な目標を立て、業務改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の状況を把握し、業績評価面談時に指導・助言を行う。 ○気になる事案については、面談等を行い、迅速に対応する。 ○不祥事防止委員会（月1回）において情報が適切に共有されているか点検する。 ○業績評価面談時に状況を聞き取り、指導・助言を行う。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、いじめ相談窓口」「心のサポーターへの相談」の認知度をさらに高めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、いじめ相談窓口」「心のサポーター相談日」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより、学年だより、学校ホームページで児童・保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・保護者からの相談内容を全教職員で共有し、改善に向けて協議する。